

日本在宅ケア・サミット 2025

おもいを叶える在宅ケア

— 2025年に改めて考える —

日本在宅ケアアライアンスは設立以来、利用者のQOL向上を目指し、
Lifeを3つのライフ、「生命：いのち」「生活：暮らし」「人生：生きがい」ととらえて対応し、
最終的には利用者を含めた関係者の笑顔をめざすあり方を模索してきました。

国が2025年を念頭に進めてきた地域包括ケアシステムの構築、地域医療構想も、煎じ詰めれば、そこにゴールがあると考えます。

その2025年を今年迎えましたが、地域は変わってきたでしょうか。

これまでの取り組みを振り返りつつ、「おもいを叶える在宅ケア」を

加盟団体とともに普及してまいります。

2025 **7/27** 日

13:00～17:00 (開場12:30～)

東京大学 伊藤国際学術研究センター
伊藤謝恩ホール

参加費
3,000円
(資料代1,000円含む)

ハイブリッド開催

会場参加：300名
オンライン参加：1,000名



サミット
会場参加者
限定!

モーニングレクチャー
開催!

10:30～12:00 先着40名

おもいを叶えるために～倫理の視点から～

板井 孝太郎氏 宮崎大学 医学部 教授/日本生命倫理学会 代表理事
稲葉 一人氏 弁護士/日本臨床倫理学会 副理事長

*事前申込が必要です(裏面参照)

総司会 遠田 恵子氏 (フリーアナウンサー)

基調講演 座長 草場 鉄周 JHHCA 理事

2040年に向けて、
在宅ケアの可能性を考える

香取 照幸氏 元厚生労働省局長/未来研究所臥龍 代表理事

令和6年度 JHHCA 事業概要と成果報告

座長 二階堂 孝子 在宅医療助成 勇美記念財団 常務理事
石垣 泰則 JHHCA 副理事長

シンポジウム

おもいを叶える住まいと在宅ケア

座長 武田 俊彦 JHHCA 副理事長/平原 優美 JHHCA 副理事長

ヘ
シ
ン
ポ
ジ
ウ
ム

市川 亨氏 (共同通信社 特別報道室 編集委員)
鈴木 邦彦氏 (日本在宅療養支援病院連絡協議会 会長)
北村 充氏 (ナラビットHD 代表取締役/りんごのおうち 施設長)
阿部 智子氏 (訪問看護ステーションけせら 総括所長)
松本 晴樹氏 (厚生労働省 医政局 地域医療計画課 医療安全推進・医務指導室長)

主催

一般社団法人
日本在宅ケアアライアンス
JHHCA
Japan Home Health Care Alliance

共催

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
全国在宅療養支援医協会/全国在宅療養支援歯科診療所連絡会/全国訪問看護事業協会/
全国ホームホスピス協会/全国薬剤師・在宅療養支援連絡会/日本介護支援専門員協会/
日本ケアマネジメント学会/日本在宅医療連合学会/日本在宅療養管理学会/日本在宅看護学会/
日本在宅ケア学会/日本在宅療養支援病院連絡協議会/日本生活期リハビリテーション医学会/
日本プライマリ・ケア連合学会/日本訪問リハビリテーション協会/日本老年医学会/
全国国民健康保険診療施設協議会/全日本病院協会/日本訪問看護財団/日本ホスピス緩和ケア協会/
日本ホスピス・在宅ケア研究会/日本在宅ホスピス協会/地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク

後援
(予定)

厚生労働省/公益社団法人 日本医師会/公益社団法人 日本歯科医師会/公益社団法人 日本薬剤師会/公益社団法人 日本看護協会/
公益社団法人 日本介護福祉士会/社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団

お申し込み方法は
裏面をご覧ください



会場参加

&

オンライン

ハイブリッド開催

日本在宅ケア・サミット 2025

おもいを叶える在宅ケア

— 2025年に改めて考える —

7/27日

13:00~17:00
(開場 12:30~)

東京大学 伊藤謝恩ホール



基調講演

[14:00~14:40]

2040 年に向けて、在宅ケアの可能性を考える

2040年にかけて進行する超高齢社会では、地域生活を支える在宅ケアの需要は飛躍的に高まると予想されます。他方で、人材不足、地域間格差、ケアの質の確保など多くの課題も今以上に顕在化します。本講演では、在宅ケアを取り巻くこれらの課題を整理し、ICTの活用や地域包括ケアネットワークの再構築など、持続可能な在宅ケアの実現に向けた方向性について一緒に議論したいと思います。

シンポジウム

[15:00~16:50]

おもいを叶える住まいと在宅ケア

多くの人が長生きし、天寿を全うできる時代となりました。そして、「どのような医療を受け、人生の終末をどのように過ごすのか」という問いではなく、たとえ病気や障がいをもっていても、「自分の人生をどのように最後まで生き抜くか」を考える時代となりました。

そこで重要となるのが日々の暮らし方や住まい方です。特に住まいは暮らしの拠点であり、ライフスタイルを支える最も大切な要素です。

在宅ケアに従事する私たちは、病気や障がいに対応する一方で、望む暮らしと住まい方を支援することを重視し、本人や家族のおもいを叶えたいと日々試行錯誤しています。しかし、現実にはおもいを表出できなかったり、おもいとは裏腹に、外部の条件や思惑に翻弄されることも、少なくはありません。

本シンポジウムでは、日々の暮らしを営む場としての住まいと、ケアの関わりについてその本質を考えてみます。

●プログラム

13:00 ~ 13:15	開会挨拶 祝 辞
13:15 ~ 13:30	JHHCA 正会員・賛助会員団体紹介
13:30 ~ 14:00	JHHCA 事業概要と成果報告
14:00 ~ 14:40	基調講演
14:40 ~ 15:00	休 憩
15:00 ~ 16:50	シンポジウム
16:50 ~ 17:00	閉会挨拶

●モーニングレクチャー

10:30 ~ 12:00	おもいを叶えるために ~倫理の視点から~
モーニングレクチャー 申込み方法	【会場参加者限定】先着 40 名 下記Peatixサイトよりお申し込みください

サミット
会場参加者
限定!

●お申し込み(事前申込が必要です)／参加費 3,000 円(会場・オンライン参加共通)

会場・オンライン参加、いずれもお申し込みは Peatix サイトからとなります。



下記 URL もしくは二次元バーコードからお申し込みください。

申込専用 URL ▶ <https://zaitakucaresummit2025.peatix.com>

会場参加

定員 300 名

オンライン

定員 1,000 名

お申し込み
方法

- ・ Peatix でのお申し込みには Peatix アカウント登録が必要になります。
 - ・ 会場参加をご希望の方は「会場参加チケット」を、オンラインで参加ご希望の方は「オンライン視聴チケット」を選択のうえ、お申し込みください。
 - ・ 会場参加の方でモーニングレクチャーをお申し込みの方は「セット券」を選択ください。
 - ・ 参加費のお支払いはクレジットカードやコンビニでの事前支払いとなります。
- 詳細は Peatix サイトにてご確認ください。

Peatix のご利用が難しい場合には、日本在宅ケア・サミット運営事務局まで、【お名前、ご所属、お電話番号】をご記載の上、メールにてお問合せください。✉ zaitaku_event@alternative-plan.com



会場参加 申込締切

2025 年 7 月 26 日(土) 20:00

定員になり次第締め切らせていただきます。会場にてご参加いただけない場合は、ぜひオンライン(申込締切 7/27 <日> 当日) 10:00) でご参加ください。

お問い合わせ

日本在宅ケア・サミット運営事務局
TEL: 080-9660-8624 担当: 明石・志藤
✉ zaitaku_event@alternative-plan.com



〈会場〉
東京大学伊藤国際学術研究センター(B2F)
伊藤謝恩ホール
東京都文京区本郷 7 丁目 3-1

- ・ 東京メトロ丸ノ内線
「本郷三丁目」駅より徒歩 8 分
- ・ 都営地下鉄大江戸線
「本郷三丁目」駅より徒歩 6 分
- ・ 東京メトロ千代田線
「湯島」または「根津」駅より徒歩 15 分
- ・ 東京メトロ南北線
「東大前」駅より徒歩 15 分

